

令和4年度 行政評価に係る外部評価意見概要

令和4年8月23日（火）

① 新規就農総合支援事業

- ・後継者がいる人たちが後継者を確保している仕組みや方法を、後継者がいない人たちにも共有できるような支援を行っていただきたい。また、50歳以上の人たちが新規就農できるような支援についても、市として検討していただきたい。
- ・農業に関して、就農者数だけで見ていくのは充分ではなく、農地が減少していることの方が問題としては大きい。いかに農地を減らさずに、旭市の産業としての農業を維持していくかという分野での支援の方法をもっと考える必要がある。
- ・さまざまな補助金が、農業参入のための一助になっていると思う。また、担い手の確保や所得の安定と向上のために、就農後の定着率についても今後確認を続けていただきたい。
- ・広報の仕方をもう少し考えて、できるだけ多くの方にこういう事業があることを周知していただければ、これからやろうという気になる人もいると思う。

② あさひ健康応援ポイント事業

- ・年齢層によって得手不得手もあると思うが、Webでの応募を始めたのは良かったと思う。また、医療費削減のためにも、一般市民の方々の健康を促進することは非常に良いことであり、そのサポートをするのがこの事業の目的だと思うが、どれだけ市民の皆さんを巻き込んで健康寿命を延ばすことができるかは、これからのPRにかかっている。
- ・令和2年度に事業規模を拡大したことで、今後規模を縮小できずに旭市の財政を圧迫し続けるような事業になってしまうのではないかと危惧している。また、成果指標としている応募者数の増加と、健康の増進がうまく結びついているのかという懸念もある。単に応募者数を増やして、たくさん景品を配るだけの事業になってしまい、従来以上に財政への負担が増えてしまうことは避けなければならないと思うので、事業の見直しをしていただきたい。
- ・景品を配るだけの事業にしないという意味では、予算をある程度決めてしまって、応募者が多くても当選者は少なくするというやり方も出来ると思う。また、ポイントの配分が厳しくなったことで参加者は減ってしまうのではないかと感じたが、広報活動次第とも思われるので、旭市の健康増進に役立てる施策にしていきたい。
- ・応募用紙で健康寿命を延ばすことを勧奨しているが、健康寿命のことを考えるのはある程度高い年齢になってからだと思うので、むしろ対象者を絞った方が良いのではないか。
- ・スポーツイベントへの参加でポイントが付与されるようだが、ポイントで間接的に参加を促すよりも、イベント自体をより参加しやすくして規模の大きいものにし、その経費をポイントに回していたお金で賄うことで、もっと直接的に運動を促す、というやり方も出来ると思う。

③ 住宅・建築物耐震化促進事業

- ・古い家に大金をかけて耐震改修をする人は少ないと思うので、耐震診断を全額補助にして問題点の把握をしてもらったり、住宅の部分的な耐震化や家具の転倒防止対策にも補助金を使えるようにしてみてはどうか。
- ・国の補助制度自体が実態にそぐわず、望ましいものとは言えなくなっていると思う。耐震化の問題に取り組む必要性は高いので、同じお金の使い方として、国の制度に乗るのではなく、より有効活用できる方法を市独自で考えてみても良いのではないか。
- ・市でお金を使わずに耐震化が進むという意味では、むしろ改築のような補助制度に当てはまらない形での耐震化を促進するのも一つの手だと思う。